

ハイキング同好会



平成29年度の活動報告を致します。

◆平成29年4月29日高崎市の相間川渓谷で毎年恒例の山菜採りを9名で行なった。シドケの群生地が数ヶ所あり大量の収穫で早めに切り上げてバーベキュー、別荘で盛大に宴会を挙げる。翌日には鼻曲山(1654m)の登山。何度か登った浅間隠山とは二度上峠を挟んだ反対側にある。初めの情報とは違い結構ハードな山行になった。



浅間山をバックに

◆5月13日相模湖の南側にあるハイカーに人気の山石老山に登ってきました。中央本線相模湖駅に集合、参加者は、5人です。降水確率100%のこの日登山口へ向かうバスの中で雨具の支度をし降車後相模湖病院の裏手の登山道から蹠蹠寺山門まで進み、最初の休憩を取り融合平見晴台を目指す、徐々に雨脚が強くなり皆黙々と山頂への道を進む幸いなことにさほどの急こう配もなく山慣れたメンバーであったので予定の時間より早く登頂できた。取りあえず証拠写真を撮り早々に下山開始、見事なヤマツツジのトンネルを眺めながら進むが登りとは比べものにならない急坂で岩場も多く滑らないように慎重に歩を運んだ。2時間程でバンガローに付帯する炊事場らしき建物を拝借し遅い昼食を済ませてほっと一息、最初から最後まで雨中山行でした。

◆6月11日の山行は秩父の丸山(960m)で7名の参加。10時西武線芦ヶ久保駅を出発し、駅前の道の駅を見ながら右手に進む。左に進めば平成25年12月に登った二子山へのルートである。15分程でありがくぼ果樹公園村と登山道入り口に向かう分岐に到着。ここは当然山に近い方の道を選択。民家が途切れたら今年2月に登った武甲山が目の前にドーンと現れてしばし見とれる。10時40分やっと登山口に到着。杉林の中の蛇行した道を進み徐々に高度を上げるとよく整備された尾根道に出る。あまり長くはないが急こう配を、息を弾ませクリアし12時15分丸山山頂到着。すぐに証拠写真を撮り昼食13時15分下山開始し、大野峠へ向かうがかなりの急こう配が延々と続き、こちら側から登ったら大変な目があったねなどと話して何か得した気分。15時15分芦ヶ久保駅に着いた。上り2時間15分下り2時間で晴天に恵まれ楽しい山行であった。



秩父丸山

◆7月2日大月市の九鬼山(970m)。中央本線大月駅から富士急行禾生(かせい)駅に10:30分集合、参加者は、5人。禾生駅目の前に九鬼山が望め、登山口のある愛宕神社まで落合水路橋をくぐり抜けて20分程で到着。神社の鳥居の手前から右は杉山林道コース、左は愛宕神社コースでコースタイムの短い左手を選択。前日の雨でしばらくは悪路の狭い登山道を進み40分で分岐に出る。さらに30分進んだら「天狗岩 眺めがよい」との表示があったので誘われて5分行くと富士山がくっきり。眼下に都留市の街並みがあり、なるほど良い眺めだった。残り30分は結構きつい登りで12:30山頂に到着。早速写真撮影後各自シートを広げ昼食タイム。1時間ゆっくりと食事休憩を取り13時半下山開始。頂上直下はかなりの急こう配で思いのほか時間を費やし16時野倉駅到着。今回の天気は曇りであったが幸運にも富士山を望むことができラッキーな山行となった。

◆9月24日奥多摩日の出山(902m)の参加者は4人。武蔵五日市駅に9時半集合し、西東京バスで日の出山登山口下車。つるつる温泉手

前の三ツ沢分岐から20分程で日新道分岐の不動尊に着く。ここで法螺貝を持った若者グループに会う(修験者には見えない)。やや急坂であるがジグザグの道を快調に進み、顎掛岩・クロモ岩を経てこの後急な階段を30分程登り、山頂到着(ほぼ計画通りの11時40分登頂であった。少し木々があるが360度の見晴である。早速証拠写真を撮り昼食休憩先ずは缶ビールで乾いた喉を潤し、12時半下山開始。下山道は来た道と同じでは面白くないので新道をチョイス、これが大失敗、コンクリート舗装された坂道を延々1時間歩くはめとなった。14時本日2番目の目的として掲げたつるつる温泉到着し、30分の入浴休憩と1時間の反省会でリフレッシュし帰途に付く。帰途のバスは超満員であった。



奥多摩日の出山

◆10月3・4日写真同好会の企画にジョイント、蔵王山・栗駒山へ10名参加。蔵王の天候は雨模様でガスの為、御釜(火山湖)は見ることができない。熊野岳避難小屋で小休止し熊野岳(蔵王山)1840.5mに到着。記念写真を撮り駐車場ハウスへ戻る。休憩後、本日の宿の新湯温泉くりこま荘に向かう。翌朝はバスで8時過ぎに出発15分程で歩行出発点のいわがみ平レストハウスに着く。頂上に降雪があったとの情報。8時40分登山開始、空は曇り勝ちながら陽もさす。登り始めは樹林の中の凹んでいる道を歩くので風が通らない為暑い。樹林を抜けて見晴らしの良い場所に出るが、ここから天候が急変し、強風とあられに見舞われ急激に寒くなる。丸太階段を登って栗駒山(1627m)頂上へ10時26分に到着。強風と低温、あられ雪の為早々に下山する。ここからは歩行終着地の須川高原温泉まで雨、風、ぐちゃぐちゃ道の連続で苦悶しながら天狗平(須川分岐)を通過、昭和湖に11時45分に到着、昭和湖のほんの一部が見られた。12時に昭和湖を出発する。途中ゼツタ沢を渡った地点が崖になっていて危険で反対側から来た団体が待機してくれた。暫くして硫黄の臭いが立ち込め、霧の中に建物が見えて須川高原温泉に13時過ぎに到着した。バスの中で昼食を取り1時間あまり温泉地で過ごす。復路はバスで2時間あまり走って一ノ関駅について。



紅葉の栗駒山

◆11月19日は山梨県大月市の秀麗富嶽十二景の一座扇山(1138m)。中央本線鳥沢駅に10時集合、参加者は5人。鳥沢駅出て登山口の犬月カントリーの前、梨子ノ木平から登山開始ジグザグの歩行が長く続く。予定より40分程遅れて扇山山頂到着。ゆっくりと食事休憩を取り、14時下山開始。下りはかなりの急こう配のジグザグの連続で途中2度程休憩し、15:50分鳥沢駅到着。今回の天気は曇りで富士山の右下1/3しか望むことができなかった。

◆12月9日忘年山行は山梨県大月市の秀麗富嶽十二景の一座高川山(976m)。中央本線初狩駅に10:10集合、参加者は4人。初狩駅は無人駅で出ると付近にはお店らしきものもなく、民家が立ち並び静かなる閑静な土地。線路沿いに右手に進みガードをくぐると緩やか坂道沿いに広い墓地にでる。30分で登山口の道標があり、沢コースと男坂・女坂の分岐に出た。更に15分登り男坂を進むが勾配が急になりジグザグの歩行で細い木々の雑木林の急坂を他のハイカーを抜きつ抜かれつして、女坂との合流に着くと下で別れた2人組と出会う。つまりは同じ時間を要した訳だ。給水後更に急勾配を、息を切らし一気に登りきり山頂に到着。予定より30分速い登頂。取りあ



大月市高川山